2017年（平成29年） 6月13日（火曜日） 夕刊 矢祭
（NO, 12333） 大安（旧 5月19日）
夕刊矢祭新聞社 日刊（土曜・日曜・祝祭日休刊） 月額1,000円
矢祭町東舘字桃木町42-2 発行人 菊池正典 ☎46-3508 昭和57年12月6日第3種郵便物認可

安全第一で楽しい行事に
七月十六日 八雲神社祭典「天王祭」

東舘区・関係団体が執行全体会議
日程、注意事項、警備、交通等確認

東舘地区の八雲神社祭典（第二百三回天王祭）執行全体会議は、十日午後二時から町中央公民館で開き、七月十六日（日）の祭礼日程や準備、運営方法、防犯警備、交通整理などについて協議した。

八雲神社の木村宮司、佐藤頑芳東舘駐在所長、佐藤棚倉警察署長代理の佐藤地域交通課長が挨拶し、安全で楽しい天王祭になるよう協力を依頼した。

協議では執行方針、日程、神輿渡御（お宮入り）について、山車等巡行について、護衛に関する注意事項、交通整理・花火打上げ依頼について、各係時間について、連絡事項について、指導及び交通警備について、今年も協賛し最優先守るべき大安事項として、一致協力して祭典執行にあたるよう一丸となって祭を盛り上げるよう協力を依頼した。

東舘駐在所、若組、八雲神社、東舘石田区、東舘青年会、神社総代、東舘商工会、石田区役員、お囃し部、山野井区、東桃内区長、石田区長）、関係機関（消防団、交通安全協会、交通安全対策協議会、交通安全母の会）、来賓（棚倉警察署長、棚倉町長、棚倉町議会議長）、氏子総代、氏子役員、祭典執行委員、祭典出席者ら総勢四十人が出席した。

民報社移動編集車来町
親子で楽しむ新聞のひみつ
二十余人受講

「親子で楽しむ新聞のひみつ」は、十日午前十時から町中央公民館において開き、読書推進リーダーや子ども司書講座生ら小中学生と保護者二十余人が受講した。

福島民報社編集局企画委員の市川純一氏を講師に、新聞の作り方など、身近なメディアとして親子で学んだ。「新聞」に関する記者の仕事、新聞記者になるまでの経緯などについて市川氏から毎朝配達される新聞から生み出されるニュースを読み取る方法などについて学習のねらいを説明した。

また、新聞編集、印刷の様子を収めた移動編集車「ふくしま民報号」も来町し、子ども新聞記者の作成した記事を深めるための学習の日をうけ、当日の号外を配った。

▼青少年育成町民会議総会は、あす午後六時三十分から町中央公民館で開く。

ちょっとした大工仕事
お任せください！
イシイ大工
代表 石井征義（せいぎ）
塙町上石井 TEL43-3693

御会葬御礼
亡父 栗山太一 儀
葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます
早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます
平成二十九年六月十三日
塙町大字塙字宮田町二十三番地五
喪主 栗山孝子
渡辺和義（順子）
外 親戚一同

JA共済
アンパンマン 交通安全 キャラバン
ANPANMAN CARAVAN
©やなせ・F・T・N
日時 平成29年7月8日（土）
1回11：00～ 2回14：00～
場所 棚倉町文化センター「倉美館」
東白川郡棚倉町大字関口字一本松58
応募方法 お近くの支店窓口に応募用紙がありますのでお越しください。
または、各支店へお問合せください。
主催：JA東西しらかわ
問合せ：0248-32-2138（共済部）

フレッシュ&フルーティ
伝統名酒 南郷 吟醸 生（なま）
必ず冷蔵庫に保管し
お早めにお召し上がりください
税込価格 570円
■300ml詰
おいしさ、活きてる クール宅急便 がお届けします
新鮮 お中元には 蔵元直行便
税込価格 4,490円 セット3670円 送料 820円
■300ml×6本詰セット
この価格には専用保冷ケースと
全国一律の送料が含まれております
詳しくは当社か最寄りの
酒販店におたずねください 株式会社 矢澤酒造店 TEL46-3101

小田川の観音様御本尊 山頂から低地へ 法林寺本堂に移転安置

区役員・有識者で検討審議重ねる 伝統ある祭典が継承できるように

小田川区（佐川隆区長）と実行委員会（落合明委員長）は、重山山頂の観音様の御本尊を、六月一日、十一高台から法林寺本堂に移設した。

移設は、時代とともに流れ、人口減少・高齢化が進む中、伝統ある祭典を継承していくためには、地区役員で検討審議を重ねた結果、御本尊を低地に移転を図ることにより、山頂までの参道整備を無くし、伝統ある祭典参拝が容易になるようにしたためだ。

移転にあたり、二十八年度より有識者・区役員等による